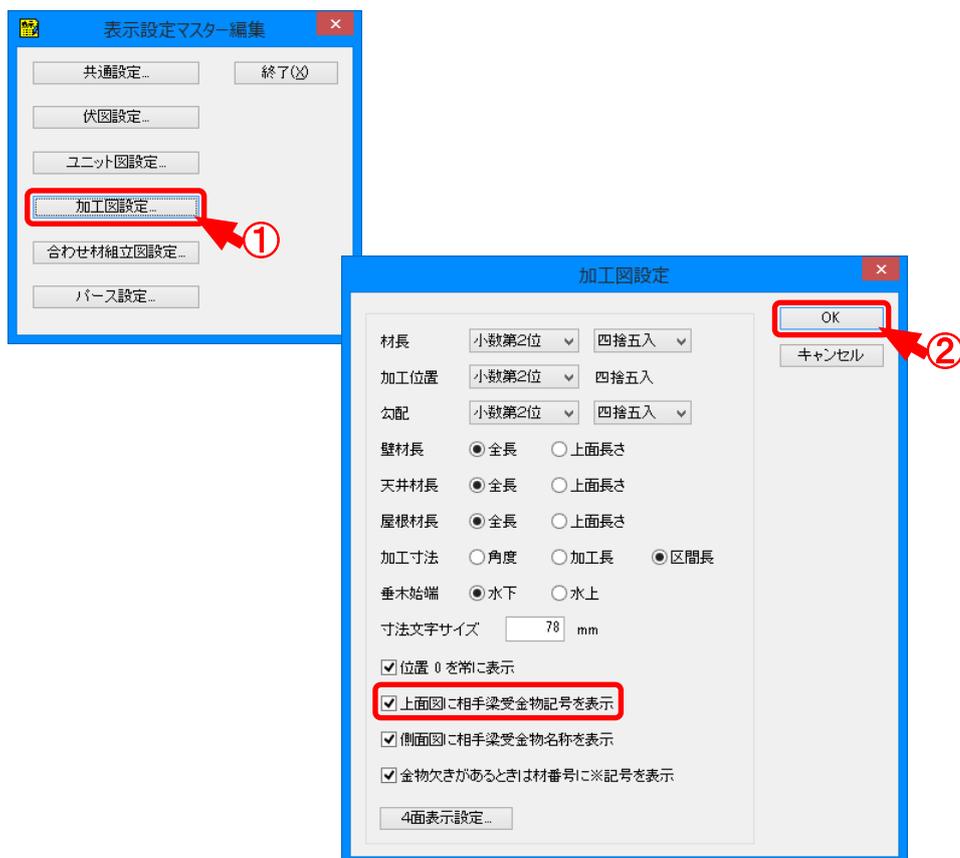


補助—マスター編集—表示設定マスター／加工図設定



表示設定マスター／加工図設定では、単品図表示に関する設定を行います。

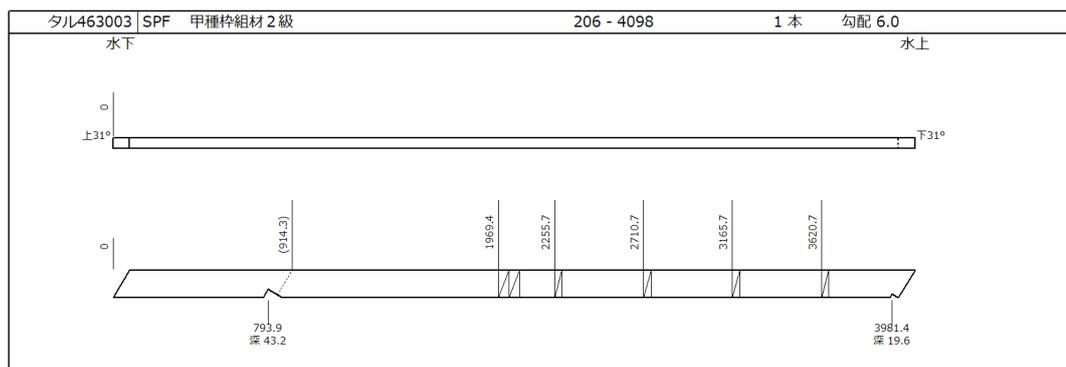
- ① 「補助—マスター編集」の「表示設定マスター」を選択し、「編集」をクリックします。
「表示設定マスター編集」の画面で「加工図設定」をクリックします。
- ② 「加工図設定」の画面が表示されますので、「OK」をクリックします。
 - ・材長：材長の端数を設定します。
 - ・加工位置：加工位置を表示する際の、端数を設定します。
 - ・勾配：勾配の端数を設定します。
 - ・壁材材長：壁材レイヤに配置された壁ユニット材の材長表示を全長表示、上面表示から選択します。上面表示の場合、材長が括弧付きで表示されます。
 - ・天井材材長：天井レイヤに配置された材の材長表示を全長表示、上面表示から選択します。上面表示の場合、材長が括弧付きで表示されます。
 - ・屋根材材長：屋根レイヤに配置された材の材長表示を全長表示、上面表示から選択します。上面表示の場合、材長が括弧付きで表示されます。

補助—マスター編集—表示設定マスター／加工図設定

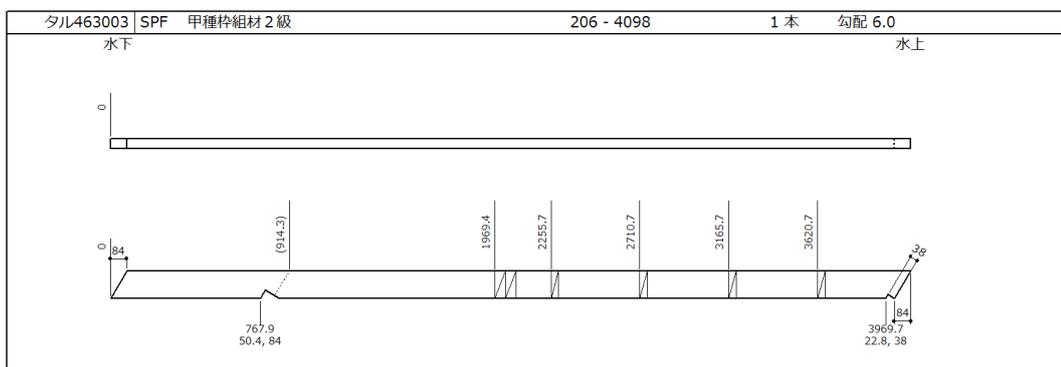
加工寸法 角度 加工長 区間長

・加工寸法：角度表記と累積長さ表記を選択します。

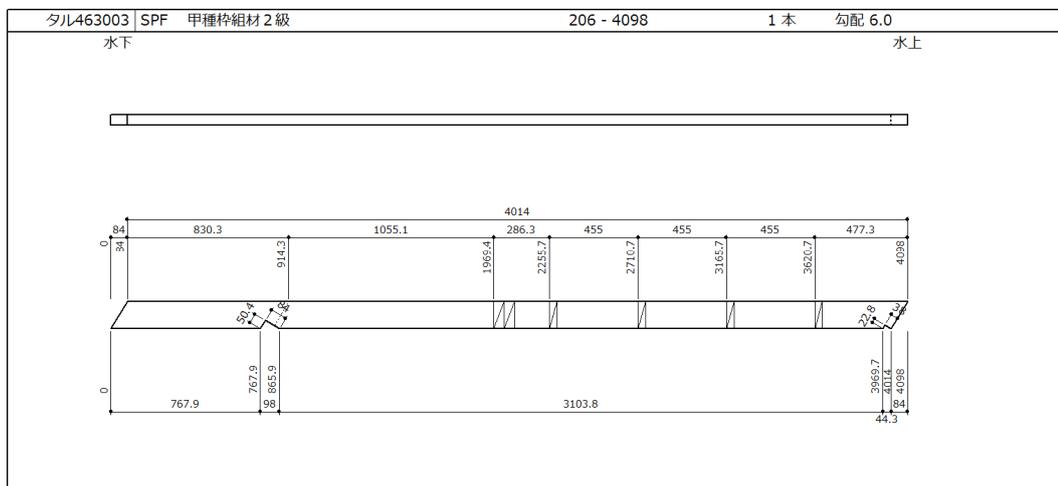
<角度>



<加工長>



<区間長>



補助—マスター編集—表示設定マスター／加工図設定

垂木始端 水下 水上

寸法文字サイズ mm

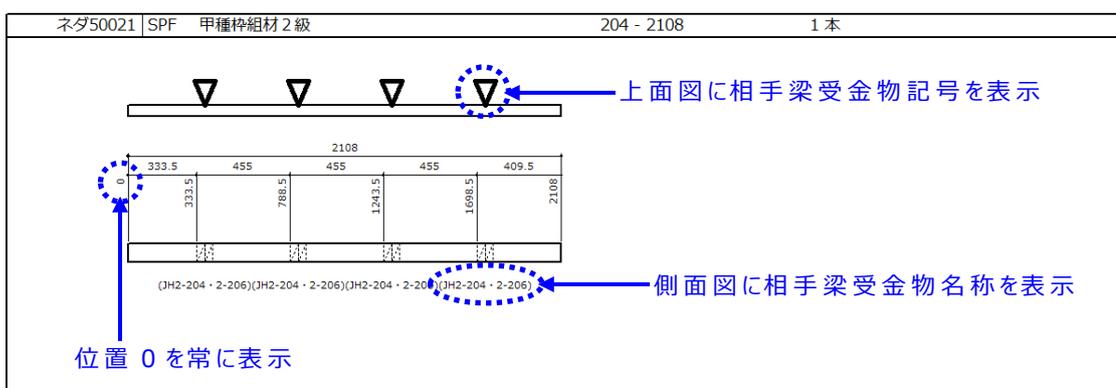
位置 0 を常に表示

上面図に相手梁受金物記号を表示

側面図に相手梁受金物名称を表示

金物欠きがあるときは材番号に※記号を表示

- ・垂木始端：累積寸法の追い基準を「水下」か「水上」から選択します。
- ・寸法文字サイズ：表示される寸法値の文字サイズを設定します。
- ・位置 0 を常に表示：チェックをつけると、寸法を表示する際に基準となる「0」位置を表示します。
- ・上面図に相手梁受金物記号を表示：チェックをつけると、上面から見た図に側面の梁受金物位置を表示します。
- ・側面図に相手梁受金物名称を表示：チェックをつけると、側面から見た図に梁受金物の名称を表示します。



- ・金物欠きがあるときは材番号に※記号を表示：チェックをつけると、金物欠きがある材の単品加工図の材番号左に※を表示します。

